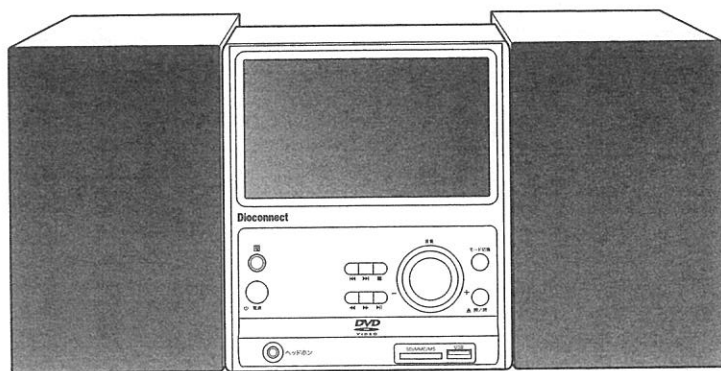


AucSale

DVC-712BK

7インチワイド液晶付きDVDコンポ

取扱説明書



本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

DVD
VIDEO

DOLBY
DIGITAL

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

目次

はじめに	5
本取扱説明書の内容について	5
リージョン番号について	5
パッケージ内容	5
安全上の注意	6
使用上のお願い	10
ディスクの取扱いと用語	11
各部のなまえ	13
リモコンの準備	16
電池を入れる	16
リモコンの使用方法	16
電源について	17
電源コードを接続する	17
スピーカーに接続する	18
本体とスピーカーの接続	18
接続のしかた - 映像/S映像+音声出力 -	19
テレビ(S映像入力端子付き)と接続する	19
接続のしかた - コンポーネント映像+音声出力 -	20
コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する	20
接続のしかた - デジタル音声出力 -	21
ドルビーデジタル内蔵アンプと接続する	21
基本操作	22
主電源のオン/オフ	22
電源をオン/スタンバイにする	22
モードの切替	22
音声の調整をする	23
音量の調整をする	23
ヘッドホン/イヤホンを使う	23
ディスクを入れる	23
ボタン操作 - 本体・リモコン共通 -	24
ボタン操作 - リモコン -	25
DVDを再生する	28
DVDをセットする	28

目次

DVDの基本操作	28
VCDを再生する	29
VCD/SVCDをセットする	29
VCD/SVCDの基本操作	29
音楽CDを再生する	30
音楽CDをセットする	30
音楽CDの基本操作	30
メディアのデータを再生する - 操作方法 -	31
各種メディアをセットする	31
モードを切替える	31
メディアのデータを再生する - 動画 -	32
再生の基本操作方法	32
動画再生の操作方法	32
メディアのデータを再生する - 音楽 -	33
再生の基本操作方法	33
音楽再生の操作方法	33
メディアのデータを再生する - 静止画 -	34
再生の基本操作方法	34
静止画再生の操作方法	34
AM/FMラジオを聴く	35
ラジオモードに切替える	35
放送局をチャンネル登録する	35
登録したチャンネルを選択する	35
環境設定	36
設定の基本操作	36
基本設定	37
○ テレビ画面設定	37
○ アングルマーク表示	37
○ 画面表示言語	37
○ キャプション	37
○ スクリーンセーバー	37
○ HDCD	38
オーディオ	38

目次

○ ダウンミックス	38
○ SPDIF設定	38
スピーカー	38
○ ステレオ設定	38
○ DRC	38
映像設定	39
○ 映像出力	39
○ TVモード	39
○ シャープネス	39
○ ブライトネス	39
○ コントラスト	39
選択	40
○ テレビタイプ	40
○ 音声設定	40
○ 字幕言語	40
○ メニュー言語	40
○ 視聴制限	40
○ パスワード	40
○ 初期設定	40
トラブルシューティング	41
仕様	43
アフターサービス	45

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。

DVDディスク、VCDは、ディスク製作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品ではディスク製作者側が意図した内容に従って再生をおこなうため、操作した通りに動作しない事があります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

リージョン番号について

本製品のリージョン番号は2番です。DVDディスクの再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に『2』のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本製品では再生できません。

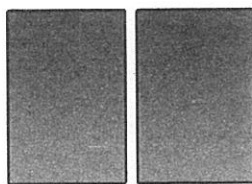
パッケージ内容

本製品には下記のパッケージ内容が含まれます。お確かめください。

① 本体



② スピーカー ×2



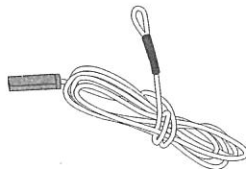
③ リモコン



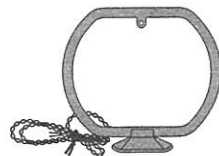
④ リモコン用
単4形乾電池 ×2



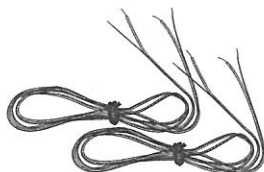
⑤ FMアンテナ



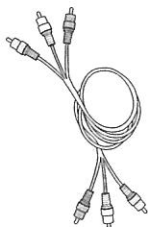
⑥ AMアンテナ



⑦ スピーカーケーブル ×2



⑧ AVケーブル



⑨ 取扱説明書
(本書)



⑩ 保証書





安全上の注意 -1-

お使いになる前に必ずお読みください。




- ご使用の前に、この『安全上の注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

- *1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 *2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
 *3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
	⊘ は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	Ⓢ は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	⚠ は、注意(警告を含む)を示します 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき



煙が出たり、変なおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、サポートセンターにご連絡ください。



内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サポートセンターにご連絡ください。



落としたり、本体を破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サポートセンターにご連絡ください。












電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、サポートセンターにご連絡ください。




安全上の注意 -2-

お使いになる前に必ずお読みください。





設置されるとき	警告
屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと 火災・感電の原因となります。	 水ぬれ禁止
電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること。 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。	 指示
ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。 本製品が落ちて、けがの原因となります。	 禁止
本製品の上に物を置かないこと。 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。	 上載せ禁止






ご使用になるとき	警告
修理・改造・分解をしないこと。火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。	 分解禁止
ディスクトレイなどから異物を入れないこと。 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入禁止
雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと。感電の原因となります。	 接触禁止
電源コードは ・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。 ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。 ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。 火災・感電の原因となります。 ・メモリーカード、乾電池等は乳幼児の手の届くところに置かないこと。 誤って飲み込む恐れがあります。 ・万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談下さい。	 禁止
・ディスクトレイ内のレンズをのぞき込まないこと。 目に障害をもたらす恐れがあります。	 禁止

お手入れについて	警告
電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを 抜きゴミやほこりをとること。 電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。	 指示

安全上の注意 -3-

お使いになる前に必ずお読みください。

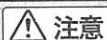
設置されるとき	⚠ 注意
温度の高い場所に置かないこと。 直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。	 禁止
湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
風通しの悪い場所に置かないこと。 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。 ・壁に押しつけないでください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ・仰向け・横倒し・逆さまにしないでください。	 禁止
移動させる場合は、電源プラグ・スピーカーケーブル・外部との接続コードを外すこと。 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。	 指示

ご使用になるとき	⚠ 注意
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと。 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。	 引っ張り禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電の原因となります。	 ぬれ手禁止
旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。	 電源プラグを抜く
ディスクトレイに、手を入れないこと。 指をはさみ、けがの原因となることがあります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 禁止
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。 ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。	 禁止

安全上の注意 -4-

お使いになる前に必ずお読みください。

ご使用になるとき



電源を入れる前には音量を最小にすること。
また、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。
アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ヘッドフォン・イヤフォンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

リモコンと本体に使用している乾電池は
・極性(+)と(-)を間違えて挿入しないこと。
・充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れてたりしないこと。
・電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れたままにしておかないこと。
・種類の違う電池を使用しないこと。



禁止

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

スピーカーケーブルを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したりしないこと。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

液晶パネルに衝撃をあたえないこと。けがの原因となることがあります。
踏み台や腰掛けなど、本来の目的以外に使用しないこと。
壊れたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。



禁止

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにほかのテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- ・ほかのテレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・ほかのテレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・コンセントを別にする



指示

ケーブルは足などに引っかからないように、配線すること。また上に重量物を載せないこと。
熱器具のそばに配線しないこと。
足に引っかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



禁止

使用上のお願い

お使いになる前に必ずお読みください。

取り扱いに関すること

- 引っ越しなどで、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 普段使用しないときは必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長時間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

- 本製品は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
- 本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような病状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

- 液晶モニタや操作パネル部分のよごれは柔らかな布で軽く拭き取ってください。
- よごれがひどいときは、布は水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナー等は絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本製品を傷めます。よくお読みください。

“結露”はこんなときおきます。

- 本製品を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなど冷風が直接あたる場所で使用したとき。
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

※結露がおきそうなときは、本製品をすぐにご使用にならないでください。

- 結露がおきた状態で本製品をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本製品の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本製品があたたまり、2～3時間で水滴をとります。または、コンセントに接続しておくと“結露(露付き)”が生じにくくなります。

日本国内用です

- 本製品を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧等が異なりますのでできません。

ディスクの取扱いと用語 -1-

再生できるディスク

■本製品では、下記のディスクを再生することができます。

メディア	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ ディスク		映像(動画)+音声	12cm
			8cm
音楽CD		音 声	12cm
			8cm
SVCD		映像(動画)+音声	12cm
VCD		映像(動画)+音声	12cm
HDCD		音 声	12cm

※ファイナライズ済みのDVD-R/-RW、DVD+R/+RWディスクは、DVDビデオとして再生する事ができます。ただし、使用するディスクの特性・汚れ・傷、またはピックアップの汚れ・結露などにより再生できない場合があります。

※音楽用CDまたはビデオCDのフォーマットで記録、ファイナライズされた音楽用CD-RとCD-RWも再生できます。ただし、記録状態によっては再生できない場合もあります。

注 意

- ・DVD-R/-RW、DVD+R/+RWの動作に関しては、動作保証することはできません。あらかじめご了承ください。
- ・CPRM方式で記録されたディスクは再生することができません。
- ・上記以外のディスクは再生できません。
- ・上記のディスクでも、規格外のディスクなどは再生できません。

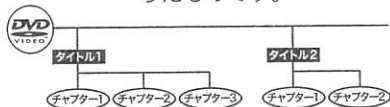
ディスクの取扱いと用語 -2-

ディスクに関する用語について

- 一般にDVDディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。VCDと音楽用CDは「トラック」で区切られています。

タイトル：DVDディスクの内容をいくつかの章ごとに大きく区切ったものです。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。



トラック：ビデオCD/音楽用CDの内容を区切ったものです。



- それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

レンタルCDについて

- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのりがはみ出したり、剥がした痕があるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなった場合の原因となることがあります。

ディスクの取り扱いかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で拭き上げてください。

再生面にはいけない事

- ※手を触れないでください。
- ※紙やシールを貼らないでください。
- ※シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
- ※鉛筆やボールペン等で書かないでください。
- ※傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。



ディスクの正しい持ち方例

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの再生について

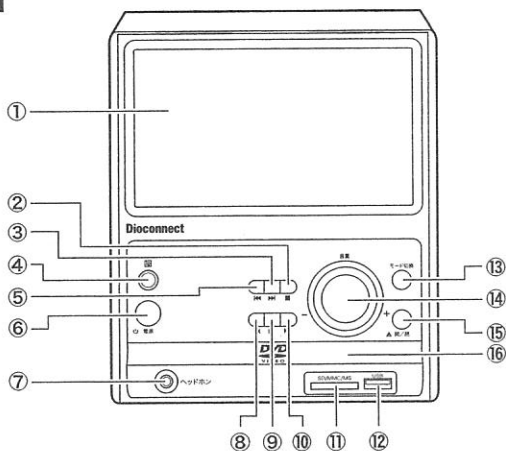
- 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ディスク保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

各部のなまえ -1-

本体前面



① ディスプレイ

② 停止ボタン

③ ▶▶ ボタン

④ リモコン受光部

⑤ ◀◀ ボタン

⑥ 電源ボタン

⑦ ヘッドホン端子

⑧ ◀◀ ボタン

⑨ ▶▶ ボタン

⑩ 再生/一時停止ボタン

⑪ カードスロット
SD/MMC/MSカードをセットします。

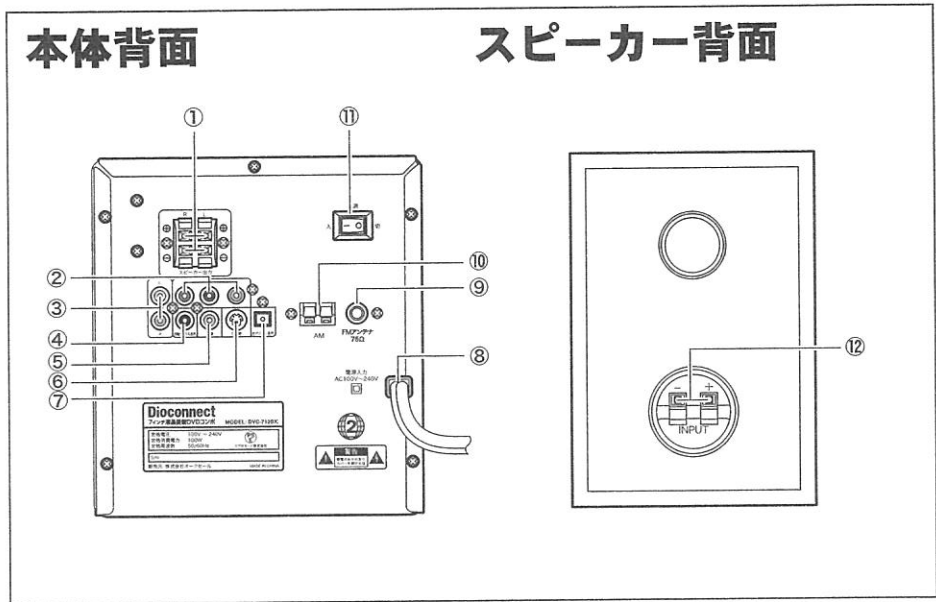
⑫ USB接続端子

⑬ モード切替ボタン
ディスク/ラジオ切替

⑭ 音量コントロール/機能ボタン

⑮ 開/閉ボタン(ディスクトレイ)

⑯ ディスクトレイ

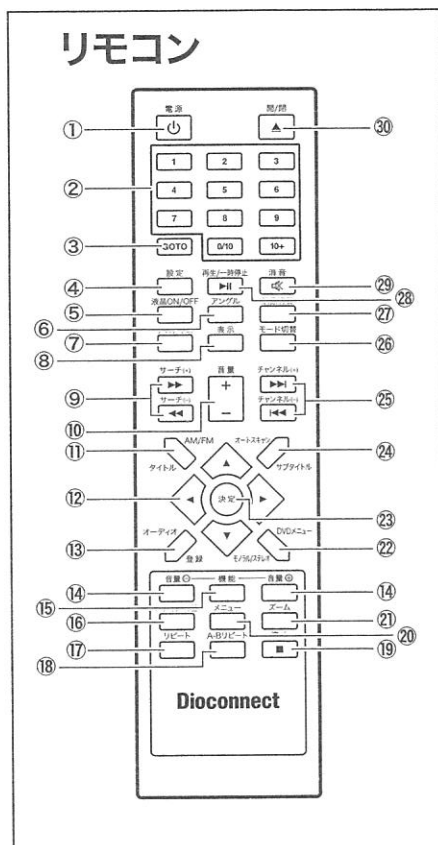


- ① スピーカー出力端子(L:左・R:右)
- ② コンポーネント映像出力端子
- ③ 音声出力端子
- ④ 同軸デジタル音声出力端子
- ⑤ 映像出力端子
- ⑥ S映像出力端子
- ⑦ 光デジタル音声出力端子
- ⑧ 電源コード
- ⑨ FMアンテナ接続部
- ⑩ AMアンテナ接続部
- ⑪ 電源スイッチ
- ⑫ スピーカー入力端子

光デジタル音声出力端子に光デジタルケーブルを接続するときは、キャップをはずし、端子の形状を確認してから奥までしっかりと差込んでください。使用しないときは埃がつかないように、キャップを取り付けてください。

各部のなまえ -3-

- ① 電源ボタン
- ② 数字ボタン
- ③ GOTOボタン
- ④ 設定ボタン
- ⑤ 液晶ON/OFFボタン
- ⑥ アングルボタン
- ⑦ プログラムボタン
- ⑧ 表示ボタン
- ⑨ ◀▶ ボタン | サーチ(+/-)ボタン
- ⑩ 音量ボタン
- ⑪ AM/FM切替ボタン | タイトルボタン
- ⑫ ▲▼◀▶ボタン(十字ボタン)
- ⑬ オーディオボタン | 登録ボタン
- ⑭ 音量+/-ボタン
- ⑮ 機能ボタン
- ⑯ メディア切替ボタン
- ⑰ リピートボタン
- ⑱ A-Bリピートボタン
- ⑲ 停止ボタン
- ⑳ メニューボタン
- ㉑ ズームボタン
- ㉒ DVDメニューボタン | モノラル/ステレオ切替ボタン
- ㉓ 決定ボタン



- ㉔ オートスキャンボタン | サブタイトルボタン
- ㉕ ◀▶ ボタン | チャンネル(+/-)ボタン
- ㉖ モード切替ボタン
- ㉗ 映像切替ボタン
- ㉘ 再生/一時停止ボタン
- ㉙ 消音ボタン
- ㉚ 開/閉ボタン

リモコンの準備

⚠ 注意

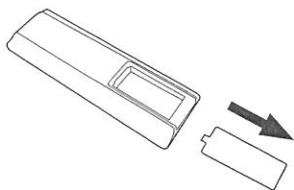
- リモコンに使用する電池は
 - ・単4形の電池以外は使用しないこと
 - ・極性表示を間違えて挿入しないこと
 - ・充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れてたりしないこと
 - ・電池に表示されている(使用推奨期限)を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れたままにしたりしないこと



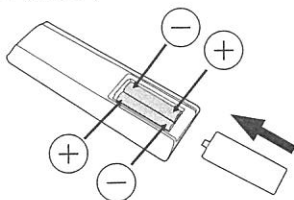
これらを守らないと、液もれ、破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。万が一、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れように拭き取ってください。

電池を入れる

- ① 電池収納部カバーをはずします。

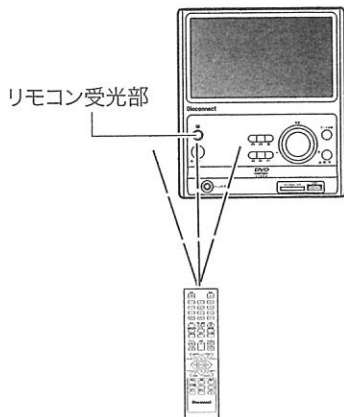


- ② 新品の単4電池を2本、収納部に下図のとおりに入れてください。(電池の+/-極)にご注意ください。



- ③ 電池収納部カバーを閉めます。
(カチッと音がするまでしっかりと閉じます)

リモコンの使用方法



- リモコンをプレーヤー本体のリモコン受光部に向けてボタンを押します。

※ リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯などの強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

注意

■電池について

・リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しい電池と交換してください。

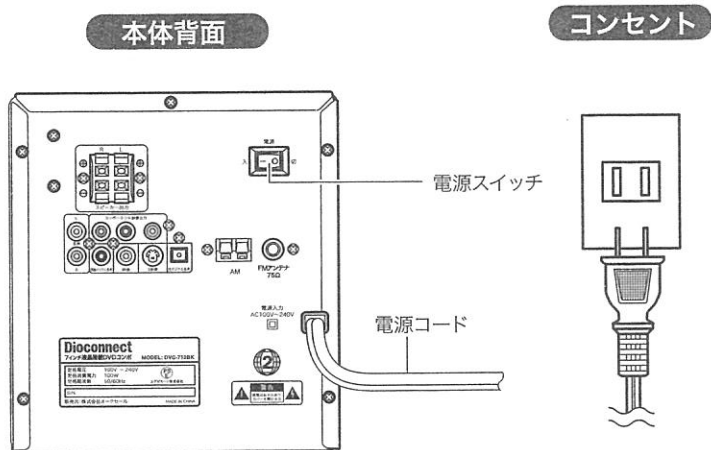
■リモコンについて

・落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
・高温・高湿になる場所に置かないでください。

電源について

電源コードを接続する

電源スイッチを『切』側に押した状態で、電源コードをコンセントに接続します。



本機の電源コードはスピーカー等、すべての接続が完了してから、AC100Vの家庭用コンセントへ差し込んでください。

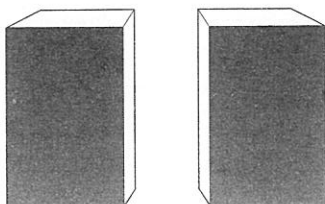
警告

- ・電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
感電の原因となることがあります。



スピーカーに接続する

本製品には専用スピーカーが2つ、付属しています。



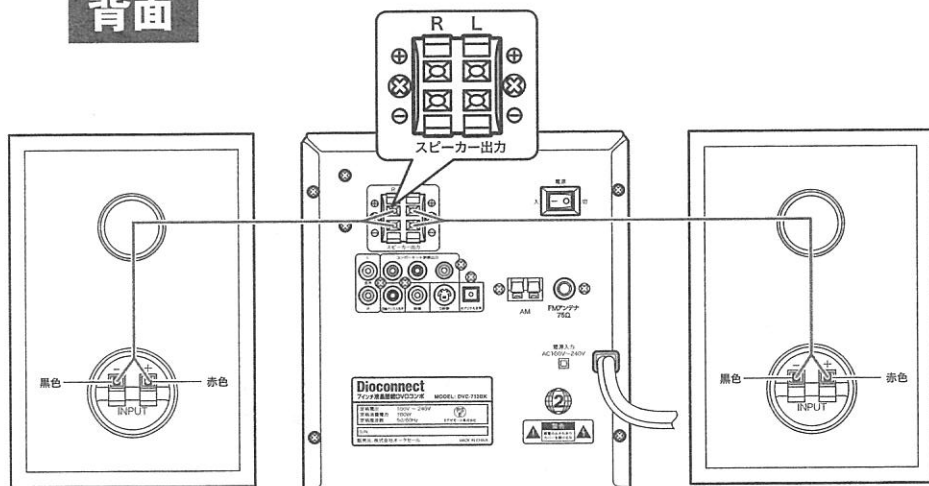
本体とスピーカーの接続

スピーカーは必ず電源がオフの状態の下図のように接続してください。

付属のスピーカーケーブルを使用して、右スピーカーを「R」に、左スピーカーを「L」にそれぞれ接続します。

※ケーブルの色と接続端子の色を合わせて接続してください。

背面



- 付属のスピーカーは2つとも同じ構造です。左右のどちらにでも設置することができます。上図を参照して、スピーカーの上下に注意して設置して下さい。

注意

- ・スピーカーは水平に設置してください。

接続のしかた - 映像/S映像+音声出力 -

テレビ(S映像入力端子付き)と接続する

■接続する前に

- ・本製品および、接続する外部機器の電源を「切」にしてください。
- ・接続する外部機器の説明書もお読みください。

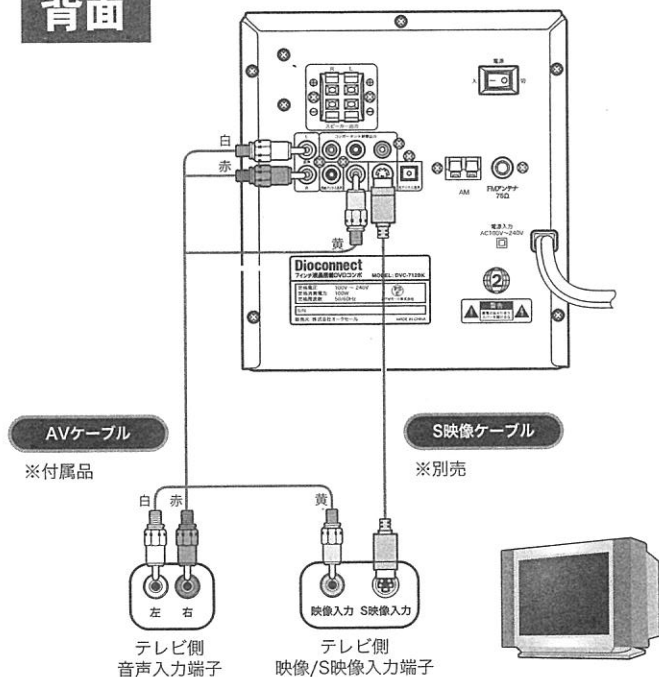
◆ 付属のAVケーブルを使用して、本製品の映像・音声をテレビに出力する。

◆ S映像ケーブル(別売)を使用して、本製品のS映像をテレビに出力する。

※S映像出力をおこなう場合は、映像出力方式の設定をしてください。(P.39を参照してください)

※本体のディスプレイ表示をオフにしたい場合は、リモコンの液晶ON/OFFボタンを押します。

背面



注意

- ・S映像をテレビに出力する場合は、付属のAVケーブルの音声ケーブル部を使用して、音声を出力してください。
- ・映像出力は通常映像または、S映像のどちらか一方をご使用ください。
- ・接続するときは必ず本製品およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・本製品とテレビは直接接続してください。例えば、本製品からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きにより正常な画像にならないことがあります。
- ・スピーカーと同時接続した場合、テレビと両方に音声が出力されます。
- ・音量調節は本製品と、接続したテレビ側とそれぞれで設定して下さい。

接続のしかた - コンポーネント映像+音声出力 -

コンポーネント映像端子付きテレビと接続する

コンポーネント映像搭載のテレビと本製品を、コンポーネント映像ケーブルで接続すると、より高画質な映像を楽しむことができます。

■接続する前に

- ・本製品および、接続する外部機器の主電源を「切」にしてください。
- ・接続する外部機器の説明書もお読みください。

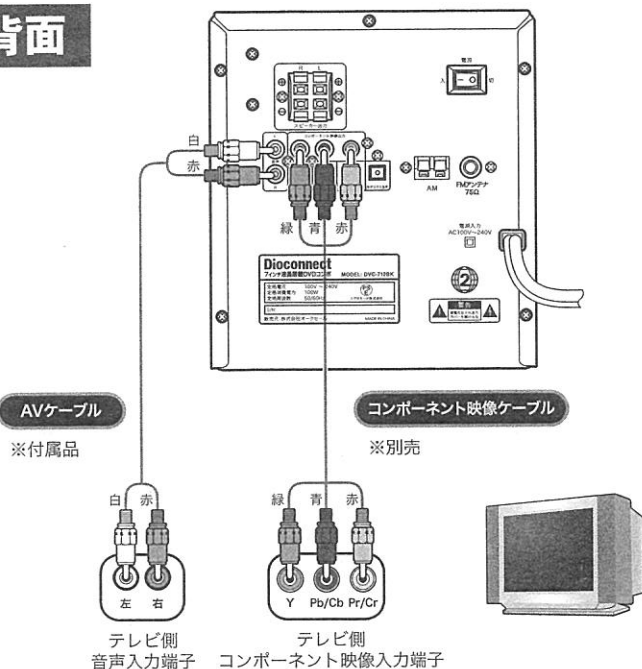
◆コンポーネント映像ケーブル(別売)を使用して本製品の映像をテレビに出力する。

※コンポーネント映像出力をおこなう場合は、映像出力方式の設定をしてください。

(P.39を参照してください)

※本体のディスプレイ表示をオフにしたい場合は、リモコンの液晶ON/OFFボタンを押します。

背面



注意

- ・接続するときは必ず本製品およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・本製品とテレビは直接接続してください。例えば、本製品からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きにより正常な画像にならないことがあります。
- ・スピーカーと同時接続した場合、テレビと両方に音声が出力されます。
- ・音量調節は本製品と、接続したテレビ側とそれぞれで設定して下さい。

接続のしかた - デジタル音声出力 -

ドルビーデジタル内蔵アンプと接続する

■接続する前に

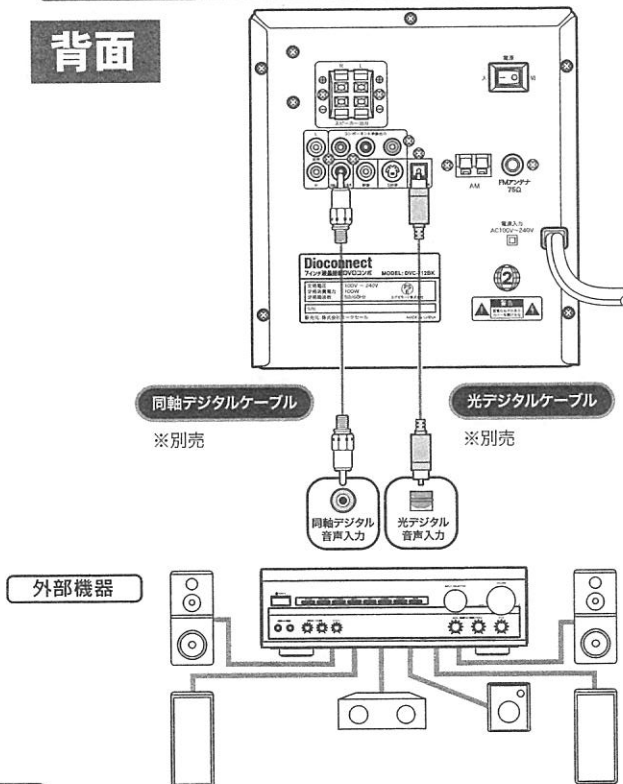
- ・本製品および、接続する外部機器の主電源を「切」にしてください。
- ・接続する外部機器の説明書もお読みください。
- ・突然の大音量によりスピーカーを破損する事のないよう、音量を確認しながら調整してください。
- ・本製品の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜いたりするときは、必ず接続機器の電源スイッチを切ってください。電源を入れたままだと、スピーカーを傷める恐れがあります。

◆同軸/光デジタルケーブル(別売)を使用して本製品のデジタル音声を外部音声機器に出力する。

※デジタル音声出力をおこなう場合は、オーディオ出力方式の設定をしてください。
(P.38を参照してください。)

DVDを5.1CHサラウンド等で視聴したい場合、外部のアンプ機器等に、同軸/光デジタル音声出力をする事ができます。

背面



注意

・同軸、光ケーブルは、どちらか一方をお使いください。

基本操作 -1-

主電源のオン/オフ

■あらかじめ本体の電源コードをコンセントに接続しておいてください。(→P.17)

- ①本体背面にある電源スイッチを「入」側に押し、主電源がオンになります。
- ②「切」側に押し、主電源がオフになります。

電源をオン/スタンバイにする

■あらかじめ本体の主電源をオンにしてください。

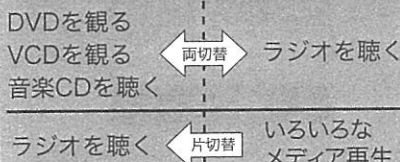
- ①本体/リモコンにある電源ボタンを押します。電源がオンになります。
- ②再度電源ボタンを押すと電源がスタンバイ(待機状態)になり、スタンバイ状態中はディスプレイが消灯します。

※長期間ご使用にならない場合は、主電源をオフにしてください。

モードの切替

本体/リモコンのモード切替ボタン、またはリモコンのメディア切替ボタンで、再生モードの切替をします。

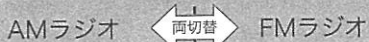
モード切替ボタン(本体/リモコン)



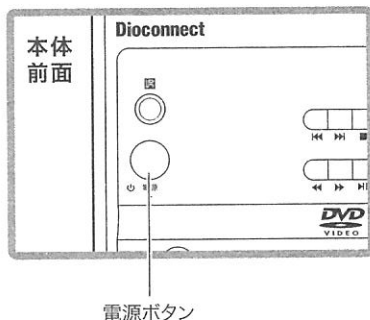
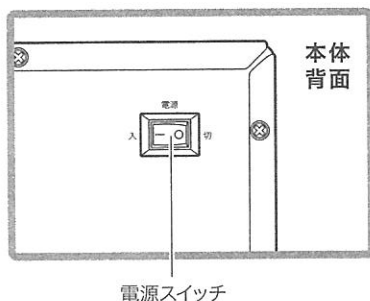
メディア切替ボタン(リモコン)



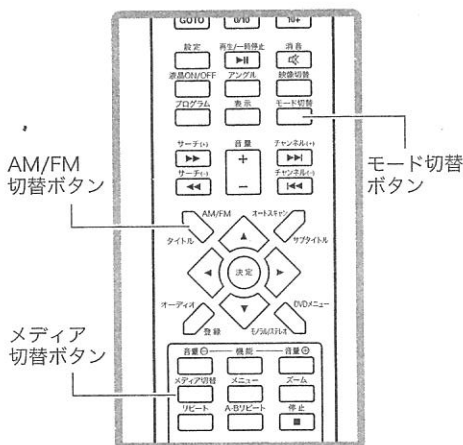
AM/FM切替ボタン(リモコン)



本体



リモコン



基本操作 -2-

音声の調整をする

本体の操作方法

- ①機能ボタンを押して、音声調整メニューを選択します。
『ボリューム』『低音』『高音』『バランス』
- ②メニューが表示中に音量コントロールを左右に回して数値を設定します。

リモコンの操作方法

- ①機能ボタンを押して、音声調整メニューを選択します。
『ボリューム』『低音』『高音』『バランス』
- ②それぞれのメニューが表示中に、音量+/-ボタンを押して数値を設定します。

※機能ボタンを押さずに音量コントロールのみ操作すると、『ボリューム』が調整できます。
※『ボリューム』設定では接続した外部機器の音量設定はできません。

音量の調整をする

リモコンの音量ボタンを押して音量を調節します。音声調整メニューの『ボリューム』と併用してください。

※接続した外部機器の音量設定ができます。

ヘッドホン/イヤホンを使う

本体のヘッドホン端子に、お手持ちのヘッドホンまたはイヤホンを接続します。

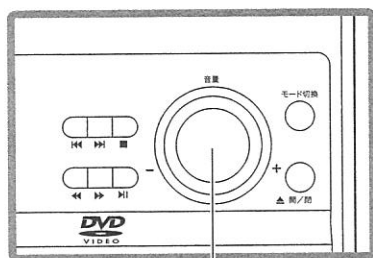
※音量を確認してから接続してください。

※接続後、スピーカーから音は出ません。

ディスクを入れる

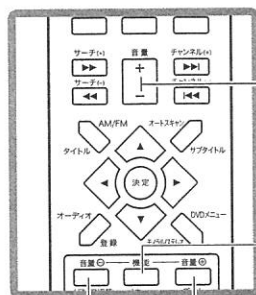
本体/リモコンの開/閉ボタンを押すとディスクトレイが開きます。ディスクをラベル面を上にしてディスクトレイにセットし、開/閉ボタンを押してカバーを閉めます。

本体



音量コントロール/機能ボタン

リモコン

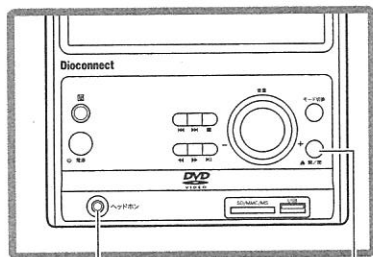


音量ボタン

機能ボタン

音量-ボタン 音量+ボタン

本体

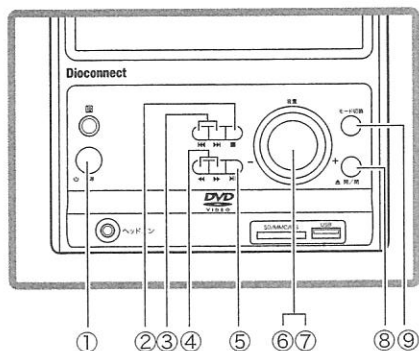


ヘッドホン端子

開/閉ボタン

ボタン操作 - 本体・リモコン共通 -

本体前面



① 電源ボタン

電源をオン/スタンバイ(待機)状態にします。

② 停止ボタン

- DVD/VCD/CDディスク再生時に**停止ボタン**を1度押すと再生が一旦停止されます。一旦停止した箇所から再生を再開する場合は**再生/一時停止ボタン**を押します。
- DVD/VCD/CDディスクの再生時に**停止ボタン**を2度押すと、再生が完全に停止されます。
- その他のメディアに記録されたファイル再生時に**停止ボタン**を1度押すと、再生が停止されます。

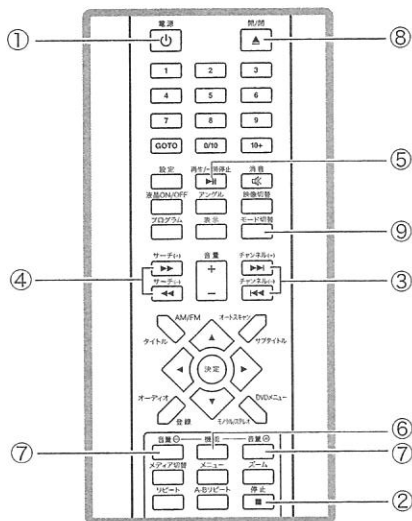
③ ◀▶ ボタン

- メディアの再生中に**▶▶ ボタン**を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルにスキップします。
◀◀ ボタンを押すと、1つ前のチャプター/トラック/ファイルにスキップします。
- メディアの停止中に**▶▶ ボタン**を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動後、再生を開始します。
◀◀ ボタンを押すと、1つ前のチャプター/トラック/ファイルに移動後、再生を開始します。

④ ◀▶▶▶ ボタン

メディアの再生中に**▶▶▶▶ ボタン**を押すと、最大32倍まで早送り再生をします。**◀◀◀◀ ボタン**を押すと、最大32倍まで早戻り再生をします。早送り/早戻り再生中は無音声です。解除する場合は、再生ボタンを押します。

リモコン



⑤ 再生/一時停止ボタン

- メディアの停止中に**再生/一時停止ボタン**を押すと、再生が開始されます。
- メディアの再生中に**再生/一時停止ボタン**を押すと、再生が一時停止されます。
- メディアが一時停止状態の時に**再生/一時停止ボタン**を押すと、再生が再開されます。

⑥ 機能ボタン

機能ボタンを押すと音声調整メニューが選択できます。
①『ボリューム』②『低音』③『高音』④『バランス』
詳細はP.23を参照してください。

⑦ 音量コントロール/音量+ボタン

各種音声調整メニューの数値を設定します。
詳細はP.23『音声の調整をする』を参照してください。

⑧ 開/閉ボタン

開/閉ボタンを押すと、ディスクトレイを開閉します。

⑨ モード切替ボタン

モード切替ボタンを押すと各モードの切替をします。
詳細はP.22を参照してください。

ボタン操作 - リモコン① -

⑩ 数字ボタン

プログラム作成、チャプター/トラック/ファイル番号の直接選択等、番号を指定する場合に使用します。

⑪ GOTOボタン

指定した箇所（時間）から再生を行うことができます。

①GOTOボタンを押すとメニュー項目がディスプレイに表示されます。GOTOボタンを押す毎に設定できる項目表示が切替選択できます。

◀▶ボタンで指定したい設定項目を選択します。

DVD ディスク TT:タイトル CH:チャプター	「タイトル番号」「チャプター番号」 「タイトル / チャプターの時間」
音楽 CD/HDCD	「トラック選択」「ディスク時間」 「トラック時間」
VCD/SVCD	「トラック選択」「ディスク時間」 「トラック時間」
CD-R/-RW	「フォルダ番号」「トラック番号」
各種外部メモリ	「フォルダ番号」「トラック番号」

②数字ボタンで指定したいタイトル / チャプター / トラック / 再生時間の数字を指定します。

③入力を終えて決定ボタンを押すと、指定した箇所から再生が始まります。

※ご使用のディスク / メディアによって、項目が選択できない場合があります。

⑫ 設定ボタン

本製品の環境設定ができる設定画面を表示します。詳細は P.36~P.40 を参照してください。

⑬ 液晶ON/OFFボタン

本体のディスプレイ表示のオン/オフを切替えます。

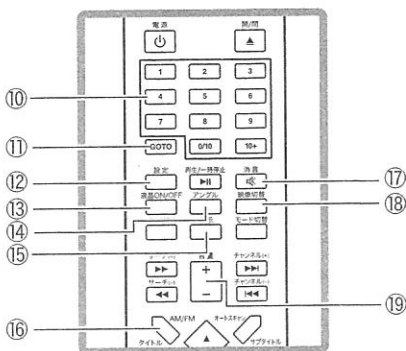
⑭ アングルボタン

「マルチアングル」に対応しているDVDビデオを再生する場合、表示アングルを切り換えることができます。（最大9アングル）

⑮ 表示ボタン

再生中に表示ボタンを押すと、画面上に再生中のチャプター番号/トラックの再生時間等、再生中のディスク/メディアの再生状況が表示されます。ボタンを押す毎に、表示内容が変わります。

リモコン



⑯ AM/FM切替ボタン・タイトルボタン

AM/FM切替ボタン：ラジオモード時にAM/FM局を選択します。

タイトルボタン：DVDディスク再生時に、DVDのタイトルメニューを表示させます。

※この機能はディスクによっては使用できません。

⑰ 消音ボタン

本体に接続されたスピーカーの音量をゼロ(消音)に設定します。解除するには本体の音量コントロールまたはリモコンの音量+ボタンを押すか、再度消音ボタンを押します。

外部接続された機器には本設定は無効です。

⑱ 映像切替ボタン

外部接続機器(テレビ等)への映像出力方式の設定を行うことができます。お使いの接続機器の取扱説明書をお読みにになり、接続機器の方式に合わせて設定してください。通常の映像出力の場合はどちらの設定でもかまいません。

S-Video:S映像出力をする場合に設定します。

YUV:コンポーネント映像出力をする場合に設定します。(詳細は→P.39を参照してください。)

⑲ 音量ボタン

本製品のスピーカーの音量と、接続した外部機器に出力された音量を、同時に設定できます。

ボタン操作 - リモコン② -

20 ▲▼◀▶ボタン(十字ボタン)

- ①メニュー画面、各種設定画面等で項目を選択する場合に、方向に合わせて各十字ボタンを押します。
- ②静止画ファイルを再生中に押すと、画像を回転/反転表示する事ができます。
※回転/反転したファイルは保存されません。
- ③ラジオ設定モードで、サーチ/チャンネル設定ができます。(詳細はP.35を参照してください。)

21 決定ボタン

- ①選択項目を確定する場合に決定ボタンを押します。
- ②場合によっては再生ボタンを兼用します。

22 オーディオボタン・登録ボタン

- オーディオボタン:** DVDディスクに記録されている音声言語を切替えることができます。
※複数の音声言語が記録されている DVD ディスクを再生している時に可能です。
- 登録ボタン:** ラジオモードでチャンネルの登録設定をします。
(詳細はP.35を参照してください。)

23 メディア切替ボタン

メディア切替ボタンを押すとモードの切替をします。
(詳細はP.22を参照してください。)

24 メニューボタン

- 画面の表示設定ができます。(明るさ、彩度等)
- ①メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
 - ②▲▼ボタンを押してメニュー項目を選択します。
 - ③◀▶ボタンを押して設定数値を入力します。
 - ④設定した数値を初期値に戻す場合は、『リセット』を選択し、▶ボタンを押します。

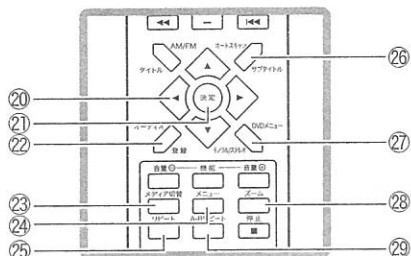
25 リピートボタン

再生中を押すとリピート再生を設定します。ボタンを押す毎にリピート再生の種類が切替ができます。

DVD	[チャプター]→[タイトル]→[オール]
音楽CD HDCD	[トラック]→[オール]
VCD/SVCD	[トラック]→[オール]
各種外部 メモリ	[シングル再生]→[シングルリピート]→ [フォルダーリピート]

※外部メモリでのリピート再生の方法は、フォルダの保存方法により若干差異があります。

リモコン



26 オートスキャン・サブタイトルボタン

- オートスキャンボタン:** ラジオモードでチャンネルの自動登録設定をします。
(詳細はP.35を参照してください。)
- サブタイトルボタン:** DVDディスクに記録されている字幕言語を切替えることができます。
※複数の音声言語が記録されている DVD ディスクを再生している時に可能です。

27 DVDメニュー・モノラル/ステレオ切替ボタン

- DVDメニューボタン:** DVDディスクのメニュー画面が表示されます。
※この機能はディスクによっては使用できません。
- モノラル/ステレオ切替ボタン:** FMラジオモードでモノラル/ステレオ音声の切替ができます。

28 ズームボタン

画像をズーム表示します。ボタンを押す毎に表示倍率の切替ができます。

29 A-Bリピートボタン

- 再生中に A-Bボタンを押してリピート再生したい範囲を指定し、その間(A-B間)のみをリピート再生することができます。
- ①最初にリピートしたい始点(A)をA-Bリピートボタンを押して指定します。
 - ②次にリピートの終点(B)でA-Bリピートボタンを押して指定します。
自動的にA-B間がリピート再生されます。
 - ③通常再生に戻す場合は、再度A-Bリピートボタンを押します。

ボタン操作 - リモコン③ -

③⑩ プログラムボタン

DVDディスクのタイトル/チャプターの再生をお好みの順番で指定できます。(1番から20番まで)

※表示ボタンをあらかじめ押しておく、再生中のディスクの総タイトルや総チャプター数を確認できます。

01	TT:04 CH:05	06	TT: CH:
02	TT:01 CH:01	07	TT: CH:
03	TT: CH:	08	TT: CH:
04	TT: CH:	09	TT: CH:
05	TT: CH:	10	TT: CH:
	終了	開始	次へ

【プログラム設定画面】

DVDディスクのプログラム設定方法

- ①DVD再生中にプログラムボタンを押します。1番から20番までのプログラムリストが作成できます。
- ②1番目のタイトルの項目が選択されています。決定ボタンを押して入力モードに入ります。
(『TT』はタイトルの意味)
- ③数字ボタンでお好みのタイトル番号を入力すると、自動的にチャプターに項目を移動します。
(『CH』はチャプターの意味)
- ④数字ボタンでお好みのチャプター番号を入力すると、2番目のプログラム項目に移動します。
- ⑤上記と同様にプログラム設定をします。
- ⑥設定の完了後▼ボタンを押してプログラム設定画面の下部にある『開始』を選択し、決定ボタンまたは再生ボタンを押してプログラム再生を開始します。

VCD/SVCD/音楽CDディスク

VCD/SVCD/音楽CDディスクでも、プログラムボタンを押してプログラム設定ができます。

DVDディスクのプログラム設定方法を参照して、トラック番号を数字ボタンで入力します。

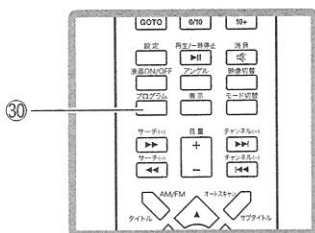
01	05	06	
02	10	07	
03		08	
04		09	
05		10	
	終了	開始	次へ

各種記録メディア

各種記録メディアでプログラムボタンを押すと、一番上の階層に記録されたフォルダ/ファイルのリスト一覧と、全ファイルの表示一覧との切替表示ができます。

存在しないタイトル/チャプター/トラックなどの番号は指定できません。

リモコン



プログラム設定の終了

プログラム設定を終了するには、▼ボタンを押してプログラム設定画面の下部にある『終了』を選択し、決定ボタンまたは再生ボタンを押して、プログラム設定を終了します。または、再度プログラムボタンを押してプログラム設定を終了します。

プログラム内容の消去

プログラム内容を消去するには、再度プログラムボタンを押した後、▼ボタンを押してプログラム設定画面の下部にある『停止』を選択し、決定ボタンまたは再生ボタンを押して、プログラム内容を消去します。

01	TT:04 CH:05	06	TT: CH:
02	TT:01 CH:01	07	TT: CH:
03	TT: CH:	08	TT: CH:
04	TT: CH:	09	TT: CH:
05	TT: CH:	10	TT: CH:
	終了	停止	次へ

DVDを再生する

市販のDVDディスクや、ファイナライズ済みDVDフォーマットのDVD-R/-RW、DVD+R/+RWディスクの再生に対応しています。

※ DVDフォーマットのDVD-R/-RWとDVD+R/+RWは、録画終了時にファイナライズが必要です。また、条件を満たしても、記録の状態によっては再生できない場合があります。

DVDをセットする

- ① 本体/リモコンにある電源ボタンを押して、電源をオンにします。
- ② 本体/リモコンの開/閉ボタンを押して、ディスクトレイを開き、DVDディスクをセットします。
- ③ 本体/リモコンの開/閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。
- ④ 自動的に再生が始まります。

DVDの基本操作

再生/一時停止

- ① 本体/リモコンにある再生/一時停止ボタンを押して再生/一時停止を設定します。
リモコンの決定ボタンでも再生できます。


停止

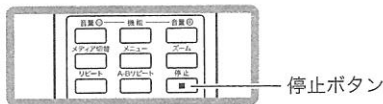
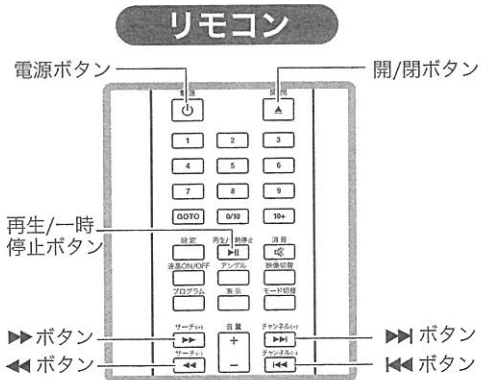
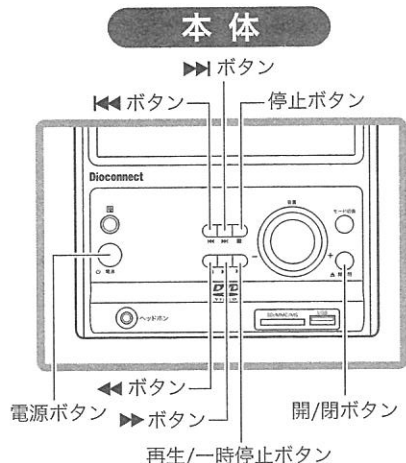
- ① 本体/リモコンにある停止ボタンを1回押すと、再生が一旦停止します。その間に再生ボタンを押すと、一旦停止した場所から再生が再開します。
- ② 再生中に停止ボタンを2回押すと、完全に再生が停止します。
(詳細はP.24 ②参照)

スキップ/早戻り/早送り

- ① 本体/リモコンの◀/▶ボタンを押して前/次のチャプターにスキップします。
- ② 本体/リモコンの◀/▶ボタンを押して早戻り/早送り再生します。
(詳細はP.24 ③④参照)

注意

- ・ディスクによっては操作・再生など行えない場合があります。画面に表示される操作手順に従ってください。
- ・ディスプレイに「」アイコンが表示された場合は、その機能を操作することができません。



本ページ記載の他に色々な機能があります。
本書P.24~27をご参照ください。

VCDを再生する

本製品ではVCDの他に、高品質SVCDディスクの再生にも対応しています。

※ ただし記録の状態によっては再生できない場合があります。

VCD/SVCDをセットする

- ① 本体/リモコンにある電源ボタンを押して、電源をオンにします。
- ② 本体/リモコンの開/閉ボタンを押して、ディスクトレイを開き、VCD/SVCDディスクをセットします。
- ③ 本体/リモコンの開/閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。
- ④ 自動的に再生が始まります。

VCD/SVCDの基本操作

再生/一時停止

- ① 本体/リモコンにある再生/一時停止ボタンを押して再生/一時停止を設定します。
リモコンの決定ボタンでも再生できます。

停止

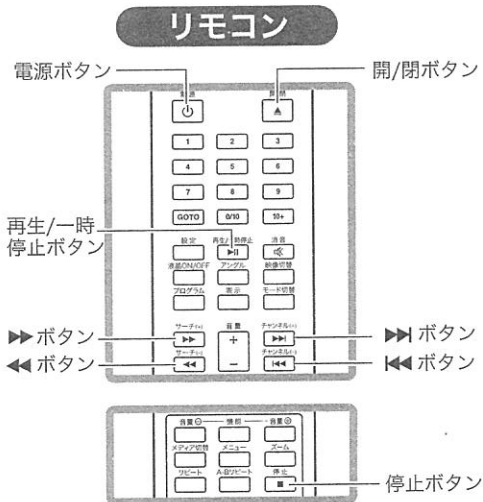
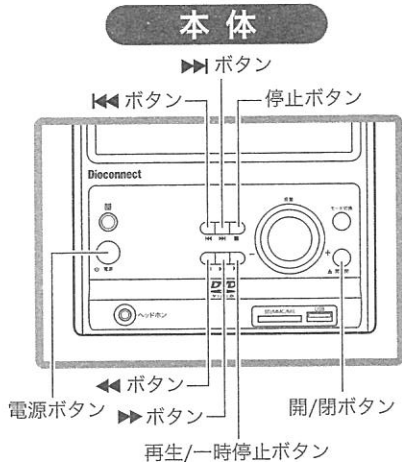
- ① 本体/リモコンにある停止ボタンを1回押すと、再生が一旦停止します。その間に再生ボタンを押すと、一旦停止した場所から再生が再開します。
- ② 再生中に停止ボタンを2回押すと、完全に再生が停止します。
(詳細はP.24 ②参照)

スキップ/早戻り/早送り

- ① 本体/リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して前/次にスキップします。
- ② 本体/リモコンの◀▶ボタンを押して早戻り/早送り再生します。
(詳細はP.24 ③④参照)

注意

- ・ ディスクによっては操作・再生など行えない場合があります。画面に表示される操作手順に従ってください。
- ・ ディスプレイに「⊙」アイコンが表示された場合は、その機能を操作することができません。



本ページ記載の他に色々な機能があります。
本書P.24~27をご参照ください。

音楽CDを再生する

音楽CDや、CD-DAフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWの再生に対応しています。または本製品では、より高音質な音源を記録したHDCDの再生にも対応しています。

※ CD-DAフォーマットの音楽用CD-R/-RWは録音終了時にファイナライズが必要です。また、上記を満たしても、記録の状態によっては再生できない場合があります。

音楽CDをセットする

- ① 本体/リモコンにある電源ボタンを押して、電源をオンにします。
- ② 本体/リモコンの開/閉ボタンを押して、ディスプレイを開き、CD/HDCDディスクをセットします。
- ③ 本体/リモコンの開/閉ボタンを押して、ディスプレイを閉じます。
- ④ 自動的に再生が始まります。

音楽CDの基本操作

再生/一時停止

- ① 本体/リモコンにある再生/一時停止ボタンを押して再生/一時停止を設定します。リモコンの決定ボタンでも再生できます。


停止

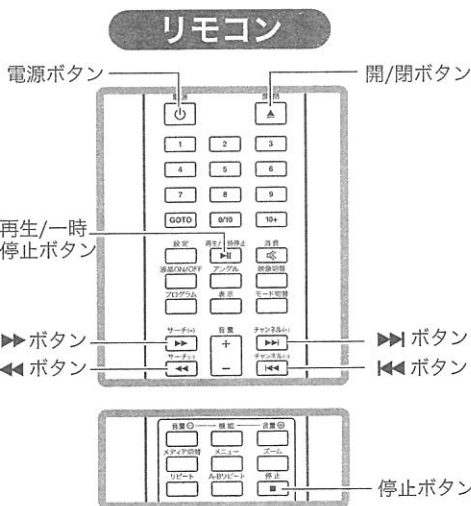
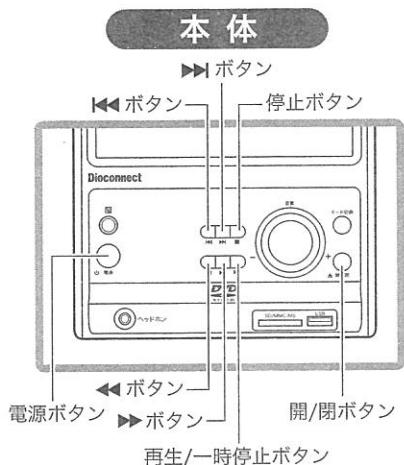
- ① 本体/リモコンにある停止ボタンを1回押すと、再生が一旦停止します。その間に再生ボタンを押すと、一旦停止した場所から再生が再開します。
- ② 再生中に停止ボタンを2回押すと、完全に再生が停止します。
(詳細はP.24 ②参照)

スキップ/早戻り/早送り

- ① 本体/リモコンの◀/▶ボタンを押して前/次にスキップします。
- ② 本体/リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して早戻り/早送り再生します。
(詳細はP.24 ③④参照)

注意

- ・ ディスクによっては操作・再生など行えない場合があります。画面に表示される操作手順に従ってください。
- ・ ディスプレイに「」アイコンが表示された場合は、その機能を操作することができません。
- ・ CCDとCD EXTRAの場合、トラック数が多く表示される場合があります。



本ページ記載の他に色々な機能があります。本書P.24~27をご参照ください。

メディアのデータを再生する - 操作方法 -

USBメモリ・SD/SDHCメモリーカード・マルチメディアカード・メモリスティック(各種)
・データ用CD-R/CD-RWを本体にセットして、記録されている動画/音楽/静止画ファイルなどを再生することができます。 ※すべてのファイルが再生できるわけではありません。



CD-ROMを除いて各種メディアの着脱は、必ず本体の電源がスタンバイの状態でおこなってください。オンの状態で行うと本体とメディアの故障・破損の原因となります。

各種メディアをセットする

本体の電源がオフの状態です。

USBメモリ
を使用する場合

……→「USB 接続端子」へ

メモリーカード
各種
を使用する場合

……→「カードスロット」へ

本体の電源がオンの状態です。

○本体/リモコンの開閉ボタンで、ディスク
トレイを開閉します。

CD-ROM
を使用する場合

……→「ディスクトレイ」へ

モードを切替える

DVDやVCD、音楽CD等を読み込んでいる
場合は、リモコンのメディア切替ボタンで
再生モードの切替をします。

メディア切替ボタン(リモコン)

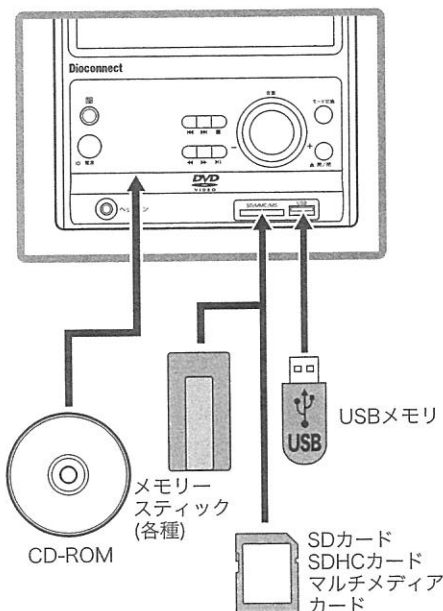
DVDを観る
VCDを観る
音楽CDを聴く



各種
メディア再生

※データ用CD-ROMのファイルを再生する場合は、音楽CDと同じモードで再生します。

本体



本製品にUSBメモリと各種メモリーカードを同時に接続すると、動作が不安定になる可能性があります。必ず一種類ずつセットしてください。

※カード類を脱着時は、無理な力を加えずにゆっくり慎重におこなってください。

注意

一部本製品での再生に対応していないメディアもあります。あらかじめご了承ください。
またそれらに付属していた取扱説明書をよくお読みになり、説明に従って接続してください。

メディアのデータを再生する - 動画 -

あらかじめ再生可能な動画ファイルが記録されたUSBメモリ・SD/SDHCメモリーカード・マルチメディアカード・メモリスティック(各種)・データ用CD-R/CD-RWを用意します。

※すべての動画のファイルが再生できるわけではありません。(P.43を参照してください)

各種メディアを使用する際には、あらかじめP.31を参照してください。



CD-ROMを除いて各種メディアの着脱は、必ず本体の電源がスタンバイの状態でおこなってください。オンの状態で行うと本体とメディアの故障・破損の原因となります。

再生の基本操作方法

■あらかじめメディアを本体にセットして電源をオン状態にします。

- ①メディアの読み込みが開始します。
- ②読み込みが始まらない場合は、リモコンのメディア切替ボタンを押します。(P.31『モードを切替える』を参照)
- ③読み込みが完了すると、全フォルダ/ファイルリストの一覧が表示されます。
- ④再生したいファイルが保存されたフォルダをリモコンの▲▼ボタンを押して選択します。
- ⑤本体/リモコンの再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、フォルダの内容が表示されます。
- ⑥再生したいファイルを▲▼ボタンを押して選択します。
- ⑦再生ボタンまたは決定ボタンを押すと、ファイルの再生が開始します。

動画再生の操作方法

再生/一時停止

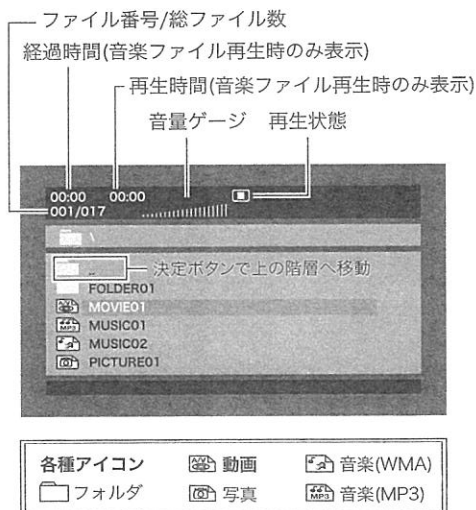
- ①本体/リモコンにある再生/一時停止ボタンを押して再生/一時停止を設定します。リモコンの決定ボタンでも再生できます。

停止

- ①本体/リモコンにある停止ボタンを押すと再生が停止します。

注意

- ・フォルダ/ファイル名の表記は英語表記のみです。表示できないコードは、文字化けの表示になる場合があります。
- ・ファイルによっては操作・再生など行えない場合があります。画面に表示される操作手順に従ってください。
- ・ディスプレイに「⊗」アイコンが表示された場合は、その機能を操作することができません。



ファイル番号指定

- ①数字ボタンを押して番号を入力します。
 - ②決定ボタンを押すと指定したフォルダへ移動/ファイルの再生が開始します。
- リストに表示されないファイルは本機で再生できません。また表示されているファイルでも再生できない場合があります。
 - ファイルによっては、映像のみ再生し音声再生ができない場合もあります。
 - 再生停止中にプログラムボタンを押すと、『選択フォルダ内の一覧表示』⇄『全ファイル一覧表示』の切替ができます。

本ページ記載の他に色々な機能があります。本書P.24~27をご参照ください。

メディアのデータを再生する - 音楽 -

あらかじめ再生可能な音楽ファイルが記録されたUSBメモリ・SD/SDHCメモリーカード・マルチメディアカード・メモリスティック(各種)・データ用CD-R/CD-RWを用意します。

※すべての音楽ファイルが再生できるわけではありません。(P.43を参照してください)

各種メディアを使用する際にはあらかじめP.31を参照してください。



CD-ROMを除いて各種メディアの着脱は、必ず本体の電源がスタンバイの状態でおこなってください。オンの状態で行うと本体とメディアの故障・破損の原因となります。

再生の基本操作方法

■あらかじめメディアを本体にセットして電源をオン状態にします。

○基本操作方法の詳細はP.32を参照してください。

音楽再生の操作方法

再生/一時停止

①本体/リモコンにある再生/一時停止ボタンを押して再生/一時停止を設定します。
リモコンの決定ボタンでも再生できます。

停止

①本体/リモコンにある停止ボタンを押すと、再生が停止します。
(詳細はP.24 ②参照)

スキップ/早戻り/早送り

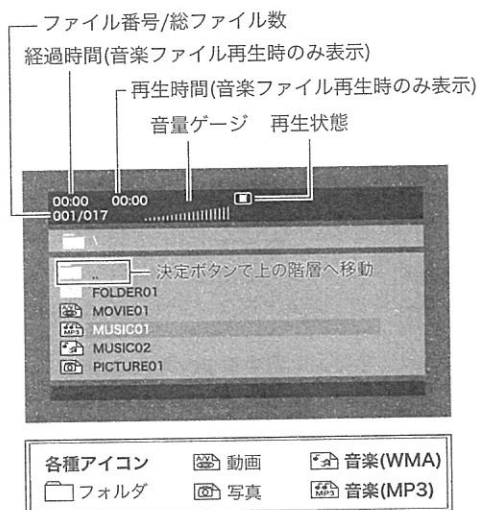
①本体/リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して前/次にスキップします。
②本体/リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して早戻り/早送り再生します。
(詳細はP.24 ③④参照)

ファイル番号指定

①数字ボタンを押して番号を入力します。
②決定ボタンを押すと指定したフォルダへ移動/ファイルの再生が開始します。

注意

- ・フォルダ/ファイル名の表記は英語表記のみです。表示できないコードは、文字化けの表示になる場合があります。
- ・ファイルによっては操作・再生など行えない場合があります。画面に表示される操作手順に従ってください。
- ・ディスプレイに「⊗」アイコンが表示された場合は、その機能を操作することができません。



- リストに表示されないファイルは本機で再生できません。また表示されているファイルでも再生できない場合があります。
- プログラムボタンを押すと『選択フォルダ内の一覧表示』⇔『全ファイル一覧表示』の切替ができます。

本ページ記載の他に色々な機能があります。本書P.24~27をご参照ください。

メディアのデータを再生する - 静止画 -

あらかじめ再生可能な静止画ファイルが記録されたUSBメモリ・SD/SDHCメモリーカード・マルチメディアカード・メモリースティック(各種)・データ用CD-R/CD-RWを用意します。

※すべての静止画ファイルが再生できるわけではありません。(P.43を参照してください)

各種メディアを使用するにはあらかじめP.31を参照してください。



CD-ROMを除いて各種メディアの着脱は、必ず本体の電源がスタンバイの状態でおこなってください。オンの状態で行くと本体とメディアの故障・破損の原因となります。

再生の基本操作方法

■あらかじめメディアを本体にセットして電源をオン状態にします。

○基本操作方法の詳細はP.32を参照してください。

静止画再生の操作方法

再生/一時停止

- ①本体/リモコンにある再生/一時停止ボタンを押して再生/一時停止を設定します。リモコンの決定ボタンでも再生できます。
- ②スライドショー形式で再生します。

停止

- ①本体/リモコンにある停止ボタンを押すと、スライドショー再生が停止します。

スキップ/早戻り/早送り

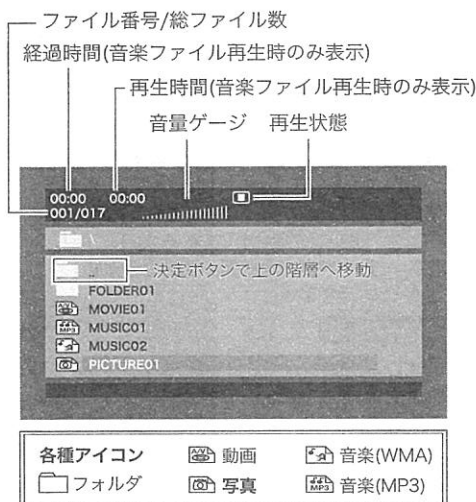
- ①本体/リモコンの◀/▶ボタンを押して前/次のファイルにスキップします。(詳細はP.24 ③④参照)

回転表示

- ①再生中に十字ボタンを押すと静止画が回転表示されます。(詳細はP.26 ㉔参照)
 - ▶: 時計回り回転 ◀: 反時計回り回転
 - ▲: 垂直方向反転 ▼: 水平方向反転

注意

- ・フォルダ/ファイル名の表記は英語表記のみです。表示できないコードは、文字化けの表示になる場合があります。
- ・ファイルによっては操作・再生など行えない場合があります。画面に表示される操作手順に従ってください。
- ・ディスプレイに「」アイコンが表示された場合は、その機能を操作することができません。



ファイル番号指定

- ①数字ボタンを押して番号を入力します。
 - ②決定ボタンを押すと指定したフォルダへ移動/ファイルの再生が開始します。
- リストに表示されないファイルは本機で再生できません。また表示されているファイルでも再生できない場合があります。
 - プログラムボタンを押すと『選択フォルダ内の一覧表示』⇔『全ファイル一覧表示』の切替ができます。

本ページ記載の他に色々な機能があります。本書P.24~27をご参照ください。

AM/FMラジオを聴く

ラジオモードに切替える

■あらかじめ本体背面にAMまたはFMアンテナを接続し、本体を受信感度の良好な場所に設置してください。(右図)

- ①本体/リモコンのモード切替ボタンを押して、ラジオモードに切替えます。
- ②リモコンのAM/FM切替ボタンを押してAM/FM局を切替えます。
- ③本体/リモコンの◀▶ボタンを押して、放送局の周波数を選択してください。

放送局をチャンネル登録する

■AM/FM放送局をチャンネルに登録することで、簡単に選局ができるようになります。チャンネル登録は自動と手動のどちらでもできます。

自動登録方法

リモコンのオートスキャンボタンを押すと、受信可能な放送局の自動検出が始まります。検出された放送局はチャンネルに自動的に登録されます。

手動登録方法

上記③の手順を参考に、登録したい放送局の周波数を選択してください。

本体の再生/一時停止ボタンまたはリモコンの登録ボタンを押すと、選択中の放送局がチャンネルに登録されます。

※オートスキャンを行うと、既存の登録内容がリセットされるのでご注意ください。

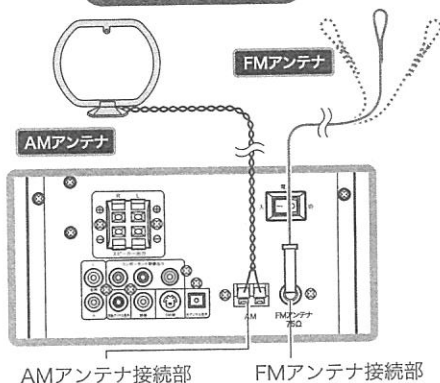
登録したチャンネルを選択する

本体/リモコンの◀▶ボタンでチャンネルの切替えができます。

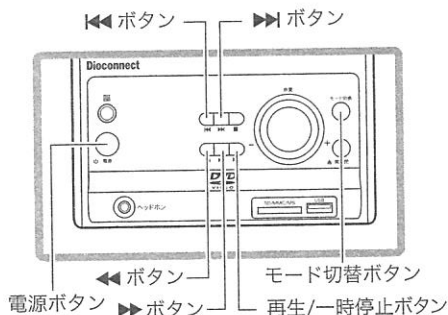
リモコンの数字ボタンで数字を入力して、指定したチャンネルを直接選択することもできます。

FM電波の受信が難しい場合は、リモコンのモノラル/ステレオ切替ボタンを押して音声を「モノラル」に切替えると、雑音や音切れを軽減することができます。

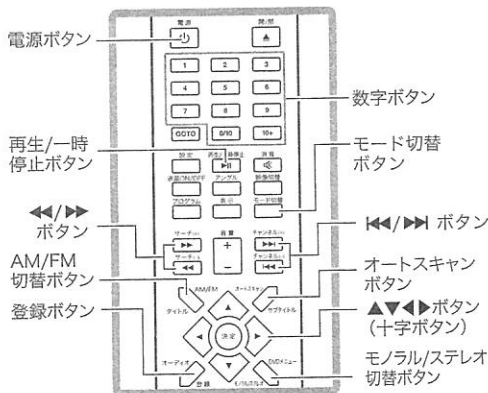
本体背面



本体前面



リモコン



環境設定 -1-

本製品の環境設定がおこなえます。本操作はリモコンでおこないます。

設定の基本操作

■あらかじめ本体の電源をオンにします。

①リモコンの**設定ボタン**を押します。ディスプレイに設定画面が表示されます。
※ラジオモードでは本設定はできません。

②リモコンの**◀▶ボタン**を押して『設定項目』を選びます。

③設定したい項目で**▼ボタン/再生ボタン/決定ボタン**を押すと、設定のメニュー項目が表示されます。

④**▲▼ボタン**を押して設定したい『メインメニュー項目』を選択して**▶ボタン/再生ボタン/決定ボタン**を押すと、『サブメニュー項目』が選択できます。

○サブメニュー項目の赤色の項目が既に設定中の項目、緑色の項目が現在選択中の項目です。

⑤**▲▼ボタン**を押して設定したいサブメニュー項目を選択して、**再生ボタン/決定ボタン**を押すと設定が完了します。

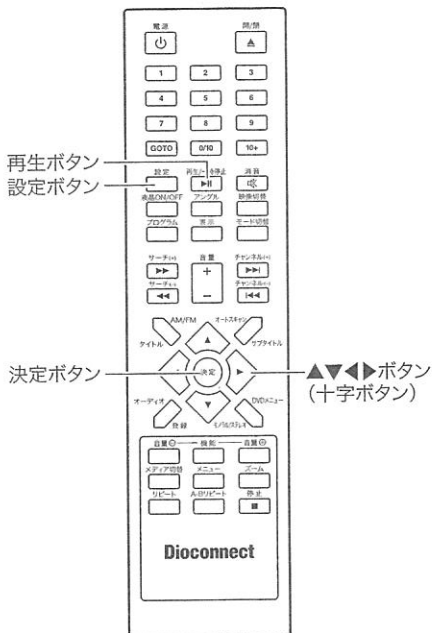
※項目によっては**▲▼◀▶ボタン**で数値入力を設定します。

再生ボタン/決定ボタンを押す事によって、数値設定が確定します。

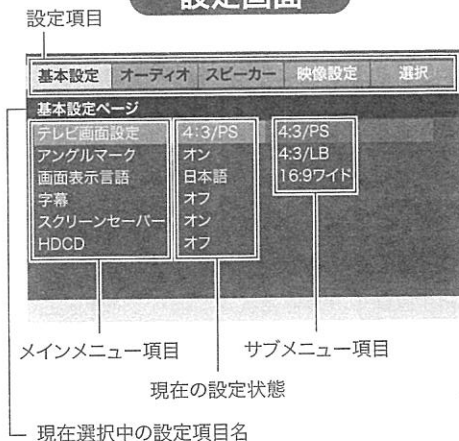
⑥前の項目に移動したい場合は**◀ボタン**を押します。選択中のメニューでの設定を中止して、一つ前のメニュー項目が選択できる状態に戻ります。

⑦設定操作を終了する場合は、再び**設定ボタン**を押します。設定画面が消えます。

リモコン



設定画面



環境設定 -2-

基本設定

テレビ画面設定

接続するテレビの形状に合わせて、優先したい画面形状を設定することができます。

4:3/PS (パンスキャン)

4:3の画面で16:9のワイド映像を見るために、左右を切り取って表示する方法です。画面のサイズはワイド画面の場合と同等に表示できます。

4:3/LB (レターボックス)

4:3の画面で16:9のワイド映像を見るために、上下に黒い帯を表示させる方法です。表示が小さくなりますが、ワイド画面のすべてをみることができます。

16:9ワイド

16:9ワイドテレビを本製品に接続している場合に、設定してください。

アングルマーク

色々なアングルで撮影された画像を記録しているディスクを再生中、アングルを切替えた際のアイコンの表示のオン/オフを設定することができます。

オン

現在の切替えたアングルのアイコンが常に表示されます。

オフ

アングルを切替えた後、一定時間が経過するとアイコンが非表示になります。

画面表示言語

表示画面の言語を日本語と英語のどちらかより選択することができます。

字幕

クローズドキャプションに対応した特殊なDVDについて、クローズドキャプションの表示切替を設定することができます。DVDディスクによっては、本設定が機能しないことがあります。

オン

字幕が常に表示されます。

オフ

字幕が非表示になります。

スクリーンセーバー

再生画像の一時停止状態が続くと液晶画面の焼き付きが起る原因となり、この現象を防止するための機能です。

オン

スクリーンセーバーが動作します。

オフ

スクリーンセーバーが動作しません。

環境設定 -3-

HDCD

より高音質な音源を記録した HDCD の再生する際の設定をすることができます。
HDCD を高音質で再生するには、本設定をお好みにあわせて『1X』または『2X』に設定してください。

オーディオ

スピーカー設定 → ダウンミックス

3つ以上の音声チャンネルを持つビットストリームを、従来のステレオと互換性を保つために、2チャンネルへダウンミックスする機能です。

LT/RT

LT/RTと呼ばれるサラウンド成分をドルビーサラウンドデコードできるようにダウンミックスします。

ステレオ

LO/ROと呼ばれるステレオミックスでオリジナルがサラウンド成分を含まない3/0のようなチャンネルでも適用されます。

SPDIF設定

本製品のデジタル音声出力とドルビーデジタルデコード機能を内蔵したアンプを接続するときに設定します。

SPDIF/オフ

出力をオフにします。

SPDIF/RAW

ビットストリーム音声を出力します。

SPDIF/PCM

PCMで音声を出力します。

スピーカー

ステレオ設定

左ライン音声出力、および右ライン音声出力を設定する際に選択します。音声チャンネルモードには、ステレオ・モノラル左（左側モノラル）・モノラル右（右側モノラル）・ミックスモノラル（混合モノラル）があります。

DRC

ダイナミックレンジコントロールと呼ばれている機能で、その圧縮率の設定をおこないます。
「OFF」は0%、「FULL」は100%の圧縮率を示します

環境設定 -4-

映像設定

映像出力

S-VIDEO

S映像出力をする場合に設定します。

YUV

コンポーネント映像出力をする場合に設定します。

※付属のAVケーブルで通常の映像出力設定をする場合は、上記どちらの設定でも構いません。

TVモード

映像出力設定でYUV(コンポーネント)出力を設定時のみ、本設定を行うことができます。

プログレッシブ

プログレッシブ対応のテレビとコンポーネント接続する場合に設定します。

インターレース

インターレース対応のテレビとコンポーネント接続する場合に設定します。

シャープネス

プレーヤーの映像のシャープさを「高」「中」「低」の3段階で設定することができます。

ブライトネス

プレーヤーの映像の明るさを「-20~+20」の段階で設定することができます。
リモコンの◀/▶ボタンを押して数値を入力し、再生/決定ボタンを押して設定を確定します。

コントラスト

プレーヤーの映像のコントラストを「-16~+16」の段階で設定することができます。
リモコンの◀/▶ボタンを押して数値を入力し、再生/決定ボタンを押して設定を確定します。

選択

テレビタイプ

国によって、ビデオ出力方式が異なります。本製品をテレビに接続する際のビデオ出力方式の設定を行うことができます。本製品はPAL（ヨーロッパなどの国で使用）、自動、NTSC（米国、日本、その他の国で使用）のビデオ出力方式に対応しています。

お使いの接続機器のテレビに合わせて設定してください。

※日本でご使用の場合は、「NTSC」または「自動」に設定してください。

音声設定

ディスク再生時の音声を複数の言語より選択することができます。

字幕言語

ディスク再生時の字幕を複数の言語より選択することができます。

メニュー言語

ディスク再生時のメニュー表示を複数の言語より選択することができます。

視聴制限

視聴制限のある映像ソフトの場合、制限レベルの変更時に暗証番号の入力が必要となります。

- ① お好みの制限レベルを選択し、**決定ボタン**または**再生ボタン**を押します。
- ② パスワード入力画面が表示され、リモコンの数字ボタンで正しいパスワードを入力すると、「OK」の項目が選択できるようになります。**決定ボタン**または**再生ボタン**を押します。

パスワード

上記の「視聴制限」の設定を行う為に本設定をおこないます。

- ① 「旧パスワード」の項目で、以前設定したパスワードを入力します。
- ② 「新パスワード」の項目で、新しく設定したいパスワードを入力します。
- ③ 「確認入力」の項目で、「新パスワード」をもう一度確認のために入力します。
- ④ 「OK」で決定ボタンを押して、決定します。

※工場出荷時は暗証番号が『0000』に設定されています。

※工場出荷時の暗証番号『0000』は、新パスワード作成後も継続使用できます。

初期設定

設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

※上記で設定したパスワードの設定は戻りません。

トラブルシューティング -1-

故障かな・・・?と思ったときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

■ 症状と処置

症状	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチがオンになっているかご確認ください。 ・電源コードがコンセントにしっかりと接続されているかご確認ください。
ディスプレイに表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイ機能がオフになっている可能性があります。リモコンの液晶ON/OFFボタンを押して、機能をオンにしてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカーが正しく接続されているか確認してください。 ・音量が最小になっていないか確認してください。 ・消音ボタンが押されていないか確認してください。 ・ヘッドホンを接続しているとスピーカーから音が出ません。ヘッドホンが接続されていないか確認してください。
DVDが再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクが入っているか確認してください。 ・ディスクが裏返しになっていないか、汚れていないかを確認してください。 ・本機では再生できない種類のディスクの可能性があります。ディスクの種類を確認してください。 ・視聴レベル設定がされていませんか。設定を解除・変更してください。 ・本機がUSB/SDカードモードになっていないか確認してください。(リモコンのモード切替またはメディア切替ボタンを押してみてください。)
音楽CDが再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクが入っているか確認してください。 ・ディスクが裏返しになっていないか、汚れていないかを確認してください。 ・本機では再生できない種類のディスクの可能性があります。ディスクの種類を確認してください。 ・本機が他の再生モードになっていないか確認してください。(リモコンのモード切替またはメディア切替ボタンを押してみてください。)
CD-ROMに記録された動画/音楽/静止画ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクが裏返しになっていないか、汚れていないかを確認してください。 ・本機では再生できない種類のディスクの可能性があります。ディスクの種類を確認してください。 ・本機では再生できないファイル形式の可能性があります。ファイルの形式を確認してください。(対応のファイル形式でも再生できない場合があります。) ・本機が他の再生モードになっていないか確認してください。(リモコンのモード切替またはメディア切替ボタンを押してみてください。)
USBメモリに記録された動画/音楽/静止画ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機では再生できないファイル形式の可能性があります。ファイルの形式を確認してください。(対応のファイル形式でも再生できない場合があります。) ・本機が他の再生モードになっていないか確認してください。(リモコンのモード切替またはメディア切替ボタンを押してみてください。) <p>※ すべてのUSBメモリが本機に対応しているわけではありません。</p>
SD/SDHCメモリーカード・マルチメディアカード・メモリースティックに記録された動画/音楽/静止画ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機では再生できないファイル形式の可能性があります。ファイルの形式を確認してください。(対応のファイル形式でも再生できない場合があります。) ・本機が他の再生モードになっていないか確認してください。(リモコンのモード切替またはメディア切替ボタンを押してみてください。) <p>※ すべての記録用メディアが本機に対応しているわけではありません。</p>

トラブルシューティング -2-

症状	処置
再生されるまでに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトル/チャプター/トラックなどが多いと読み込みに時間がかかる場合があります。 ・静止画ファイルのファイルサイズが大きいと読み込みに時間がかかる場合があります。
画像や音声が乱れることがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにしてください。 ・記録されているファイルが破損している可能性があります。確認してください。
AM/FMラジオが聴けないノイズが多い	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナの位置を変えてみてください。 ・コンクリートの壁等で電波が遮断されていると放送を受信しにくくなります。 ・FMステレオをFMモノラルに変更してみてください。 ・近くに自動車が走っていたり、飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。 ・テレビやパソコンから離してください。
リモコンで操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・電池の極性(+/-)が表示通り正しく入っているか確認してください。 ・電池を新しいものと交換してみてください。 ・リモコンと本体の距離が開きすぎていないか確認してください。 ・リモコンと本体の間に障害物があるとリモコンの信号が本体に届かないことがあります。 ・本体のリモコン受光部に強い光等が当たっていないか確認してください。
外部機器に出力できない	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機器と本体がケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ・外部機器の電源が入っているか確認してください。
本機が正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・静電気やノイズなどの影響により、本製品が動作しなくなる可能性があります。 ・本体電源のオン/オフをおこなってください。 ・電源プラグを抜いてもう一度差し込み直してみてください。
チャプター/トラックが順番通り再生しない	<ul style="list-style-type: none"> ・リピート再生、プログラム再生などの設定がされている可能性があります。設定の解除をしてください。

仕様

再生可能メディア	DVD-VIDEO、DVD+R/+RW、DVD-R/-RW、CD-DA、CD-R/RW、VCD、SVCD、HDCD、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック(Duo/Pro/Pro Duo)、USBメモリ	
DVD-R/-RW	再生フォーマット	ビデオフォーマット(ファイナライズ済み)
DVD+R/+RW	再生フォーマット	ビデオフォーマット(ファイナライズ済み)、+VRモード
CD-R/RW 各種メモリーカード USBメモリ	再生フォーマット	MPEG1、MPEG2、MPEG4、WMA、MP3、JPEG
	WMA再生	ビットレート：32kbps～128kbps サンプリングレート：44.1KHz
	MP3再生	ビットレート：32kbps～320kbps サンプリングレート：44.1KHz
メモリーカード 対応容量	SD/SDHCメモリーカード (別売：2GB/4GBまで対応)、 マルチメディアカード (別売：2GBまで対応)、メモリースティック/Duo (別売： 128MBまで対応)、メモリースティックPro/Pro Duo (別売：2GBまで対応)	
ラジオ受信方式	PLLデジタル方式	
ラジオ受信周波数帯	AM：522～1629 KHz、FM：76.0～108.0 MHz	
映像方式	NTSC / PAL / 自動	
画面表示言語	日本語 / 英語	
液晶タイプ	7型ワイドTFT液晶	
画素数	横 480 × 縦 234 ドット	
アスペクト比	16：9 (4：3 選択可能)	
音声最大出力	スピーカー25W×2、ヘッドフォン25mW×2	
スピーカーサイズ	約φ50mm + φ100mm (L/R)	
入力端子	USB端子 (USB 2.0)、カードスロット	
出力端子	映像出力端子×1 / コンポーネント映像出力端子(CrPr/CbPb/Y)×1 / S映像出力 端子×1 / スピーカー出力端子(L/R)×1 / 音声出力端子 (L/R) ×1 / ヘッドホン端子×1 / 光デジタル音声出力端子×1 / 同軸デジタル音声出力端子×1	
電源	AC100～240V、50/60Hz	
消費電力	100W	
プレーヤー本体寸法	約 (W)190mm × (H)215mm × (D)230mm (突起物のぞく)	
スピーカー単体寸法	約 (W)145mm × (H)215mm × (D)220mm (突起物のぞく)	
プレーヤー本体重量	約 2.7Kg	
スピーカー単体重量	約 1.88Kg	
使用環境	温度：0～40℃ (結露なきこと) 湿度：最大90% (結露なきこと)	

仕様

※本製品には記録用メディアは一切付属しておりません。

※本製品はコピーコントロールCDなどの特殊ディスクの再生は保証しません。

※ファイナライズ済みのDVD-R/-RW(ビデオフォーマットのみ)、DVD+R/+RWはDVDビデオとして再生できますが、使用するディスクの特性、汚れ、傷、または記録状態や記録機器、記録ソフト等の特性などにより再生できない場合があります。

※CD-DAのフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWを再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

※CPRM方式で記録されたディスクは再生できません。

◆ 商標について

WMA(Windows Media®Audio)は米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

WMA(Windows Media®Audio)は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

液晶画面について

以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。

- ◎ 一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。
- ◎ 明るさにむらが生じる場合があります。
- ◎ 太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

アフターサービス

◎ 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。(保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。)

◎ 修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「トラブルシューティング」をよくお読みいただき、それでも解決しない場合には下記までご相談ください。

- 本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、サービスについては日本国内限定とさせていただきます。

本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。